

未来へ！

高知市立十津小学校
2021. 4. 21
第 3 号

求める児童像

心豊かな子
自ら学ぶ子
たくましい子

1年生をむかえる会

4月13日（水）、1年生をむかえる会を行いました。感染対策のため、全校が一堂に会しての実施は今年度も見送ることになりました。計画委員会の放送で教室を出発した1年生を、ホールで2年生、家庭科室前で3年生、図書室前で4年生が迎え、それぞれの学年が歓迎のメッセージを1年生に伝えました。勉強のこと、休み時間のこと、給食のことなど、これから始まる学校生活についてのお話を、1年生は目を輝かせて聞いていました。最後に体育館で5・6年生と対面。頼りになる十津小学校のお兄さん、お姉さんからの優しい言葉がけに、1年生もうれしそうでした。新しく迎えた仲間への思いやりの気持ちが校舎中にあふれる、優しさいっぱいになりました。



学校教育目標について

十津小学校の学校教育目標は「豊かな感性をもち、自ら考え、たくましく生きる十津の子の育成」です。学校ではこの学校教育目標達成のために、すべての活動を行っています。学校通信の右上にいつも掲げている『求める児童像』もこれを受けたものです。そこで年度の初めに、この学校教育目標について、保護者の皆さんと確認したいと思います。

【豊かな感性】

気づき、感じ取る能力、物事の受けとめ方を意味し、五感で受け止めたものを心の動きまで高めていくものと考えます。「ひとの心が分かり、仲間を思いやること」「物事の善悪が分かること」「身の回りの事柄や変化に気づくこと」等が例として考えられます。

【自ら考え】

指示や指導によって行動するのではなく、子どもの主体性、自主性を重視し、子どもが自分で課題に挑戦し、子ども同士が互いに磨きあいともに高まっていくことを目指します。「自分の考えを持つこと」「主体的に学習すること」「まわりのものや既習のものをつなげて考えること」等が具体の姿として考えられます。

【たくましく生きる】

困難があってもくじけず、目指すところに向かい知恵を働かせて達成していく力、苦労が多くてもより価値があり、より多くの人々の幸せにつながる道を選択できる力を持つ子どもに育てたいと思います。具体的には「体がたくましく元気であること」「実践力、行動力があること」「最後まで粘り強くやり抜くこと」等が挙げられます。

【十津の子】

歴史と伝統、文化遺産や自然に恵まれた十津（三里）を愛し、故郷を大切に子どもに育ててほしいとの願いが込められています。

調べてみると1995年にこの目標を掲げて、今年で28年目になるようです。ずっと変わらないのは、分かりやすく覚えやすい、いい目標だからだと思います。保護者の皆さんと教職員が手を携え、子どもの成長に関わることで、より目標に近づいていくことができます。学校教育目標を今一度ご確認いただき、ご支援とご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。